

山形県工業技術センターでは、(公財)JKAより競輪の補助を受けて、超低温恒温恒湿器を導入しました。

## 1. 広い温度域での環境試験が可能

−70℃から+150℃までの広い温度域での温度制御環境試験を実施することができます。さらに、+10℃から+85℃の温度域においては湿度を制御することが可能であるため、温湿度制御環境試験を実施することができます。

## 2. 温湿度データのデジタル出力

環境試験中の試験槽内温湿度データを、CSV形式で出力可能です。

## 3. 試料温度制御機能

試料に温度センサーを取り付け、試料温度により温度制御を行うことで、試料への正確な温度ストレスをかける試験が可能です。

## 4. 重量物の環境試験が可能

槽内の床面を補強しているため、200kgまでの重量物の環境試験が可能です。



超低温恒温恒湿器 外観



超低温恒温恒湿器 内部

### — システム構成概要 —

[型 式] エスペック(株)製 PSL-4J

[主な仕様] 温度範囲: −70~+150℃, 湿度範囲: 20~98%R.H.

温度変化速度: 6.0℃/分以内(−48→+128℃), :2.0℃/分以内(+128→−48℃)

温度極値到達時間 :35分(+20→+150℃), 72分(+20→−70℃)

内法: 1000×1000×800(幅×高さ×奥行mm)

## お問い合わせ先